

甲斐市議会総務教育常任委員会会議録

1. 開催日時 令和2年1月23日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（6名）

委員長	滝川美幸君	副委員長	金丸幸司君
	秋山照雄君		赤澤厚君
	松井豊君		有泉庸一郎君

欠席委員（1名）

小浦宗光君

傍聴議員（10名）

議長	清水正二君		加藤敬徳君
	清水和弘君		横山洋介君
	五味武彦君		斉藤芳夫君
	長谷部集君		山本英俊君
	内藤久歳君		保坂芳子君

説明のため出席した者の職氏名

企画政策部長	小田切 聡君	市民部長	剣持豊彦君
教育部長	樋口 充君	秘書政策課長	丸山英資君
市民窓口課長	小池清美君	学校教育課長	輿石 信君
スポーツ振興課長	山岡広司君	総合政策係長	大木 康君
届出窓口係長	山田久美君	指導監	小山田拓也君
スポーツ推進係	森澤篤史君		

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 本田 泰 司 書 記 興 石 文 明

書 記 中 込 美 智 子

内容

- 1 福沢辺地総合整備計画について（秘書政策課）
- 2 甲斐市印鑑条例及び甲斐市印鑑条例施行規則の一部改正の概要について（市民窓口課）
- 3 プログラミング教育の実施状況について（学校教育課）
- 4 東京2020オリンピック競技大会における聖火リレーについて（スポーツ振興課）
- 5 その他

開会 午後 1時27分

○書記（輿石文明君） 改めまして、こんにちは。

ただいまから総務教育常任委員会を開会いたします。

本日の委員会は、初めに委員長より挨拶をいただきまして、委員長の進行により進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第の2、委員長挨拶、滝川委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（滝川美幸君） 改めまして、こんにちは。

久しぶりに雨ということで、なかなか雪は降らないなと思っておりますが、昨日の朝のニュースの中で北杜市が出ていまして、北杜でつくっている天然の氷がことしは張らないので、氷を夏に出荷ができないということで、大変なことになっているという、全国放送の中でやっていたけれども、大変なことだな、暖冬というのとも思いました。

始まる前に、ひとつ委員の皆さんにお願いがあります。以前に教育委員会のほうから1月28日の竜王小学校の公開授業のご案内が来ていますが、できるだけご都合がつく方はぜひ教育委員会のほうにお申し込みしていただきまして、この機会がもうあとそうないのかなと思います。4月からは新しい学習指導要領が始まりますので、私たちも勉強していかなければいけないなと思っておりますので、ご都合のつく委員さんはなるべくこういう機会に参加していただけたらなと思っておりますので、改めましてお願いをしておきます。よろしくお願いいたします。

それでは、ただいまの出席委員は6名です。定足数に達しておりますので、これより総務教育常任委員会を開会いたします。

なお、小浦委員は欠席の連絡がありましたので報告いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

なお、本日は委員外議員の傍聴を許可いたしますので、ご承知おきください。

質疑は、委員の質疑を受けた後に傍聴議員の質疑を受けたいと思います。傍聴議員の質疑はさきの申し合わせのとおり、会派の割り当て人数により行います。質問は1問とし、再質問は1回までとします。

念のため、人数を申し上げます。創政甲斐クラブ2人、新政会1人、進和会1人、公明党1人、甲斐市民クラブ1人、颯新クラブ1人、日本共産党甲斐市議団1人となります。よろ

しくお願いいたします。

○委員長（滝川美幸君） それでは、次第の3、内容に入ります。

内容の（1）福沢辺地総合整備計画について、担当より説明をお願いいたします。

丸山秘書政策課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） お疲れさまです。

秘書政策課から内容（1）福沢辺地総合整備計画についてご説明申し上げます。

総務教育常任委員会資料の1ページをお開きください。

初めに、福沢辺地整備計画につきましては、平成27年から令和元年までの5カ年計画で敷島地区の福沢辺地として下芦沢線道路改良事業及び落石防止網設置事業に取り組み、事業計画が完了となりますことから、本年3月定例会におきまして、令和2年度から令和6年度までの新たな福沢辺地総合整備計画について議会の議決をお願いするものであります。

それでは、本計画の内容につきましてご説明申し上げます。

1、辺地対策の概要といたしまして、辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差の是正を図るため、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律が制定されております。以来、辺地を有する市町村におきましては、特に辺地法に基づく辺地対策事業債の活用を図り、辺地の生活環境向上のため、公共的施設の整備を進めてきたところでございます。

2番の辺地の定義についてご説明いたします。

こちらにつきましては、交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれず、他の地域に比較して住民の生活文化水準が著しく低い山間地、離島、その他のへんぴな地域としておりまして、具体的な要件については次のようになります。

まず、（1）人口と面積は地域の中心を含む5キロ平方メートル以内の面積に50人以上の人口を有すること。

（2）といたしまして、へんぴな程度とは政令に基づいて算定された辺地度点数が100点以上で公共的施設を整備することが緊要な地域であること。補足といたしまして、辺地度点数は辺地の中心から停留所、小学校、中学校、高等学校、医療機関、郵便局などへの最短距離、バス等の1日の運行回数等により算定されるものでございます。

3番の辺地対策事業債対象事業といたしましては、電灯用電気供給施設から市道、農道、林道、電気通信施設、除雪機器など、こちらに記載されている施設でございます。

4番の財政的支援措置、辺地対策事業債につきましては、充当率が原則100%でございます。後年度の元利償還金の80%を交付税措置として措置されるものでございます。

次に、5番、総合整備計画の策定及び議決につきましては、法に基づき、あらかじめ県知事と総合整備計画の協議を整え、議会の議決を得て、当該辺地に係る総合整備計画（5カ年計画）を定めまして総務大臣に提出するものでございます。

資料の2ページをお願いいたします。

6番、辺地の状況といたしまして、（1）福沢辺地敷島地区といたしまして、前屋から大明神の9つの自治会となります。

（2）現在の総合整備計画は、平成27年度から令和元年度までの5カ年計画でありまして、現在終わる事業については、先ほど説明してしました事業の2事業でございます。

7番、新たな辺地総合整備計画といたしまして、冒頭でもご説明申し上げましたが、平成27年度から令和元年度までの現在の総合整備計画が終了することに伴いまして、新しい総合整備計画を策定するものでございます。

全体計画といたしましては、（1）事業年度は令和2年度から令和6年度の5カ年計画となります。

（2）施設につきましては、道路及び渡船施設、こちら渡船とありますけれども、これは基準の用語ですので、こちらは道路の施設となります。

（3）事業名につきましては、市道小川線道路改良工事といたしまして、延長110メートル、幅員は6メートルから7メートルの整備を計画するものでございます。これに対する事業費といたしまして、（4）番、2,300万円を計画しております。

5番の事業内容につきましては、市道小川線につきましては、清川地区の幹線道路といたしまして住民の生活に密着した使用頻度の高い道路であり、地域の拠点であります清川地域ふれあい館への進入路となっております。

位置につきましては、3ページ右側の小さくて申しわけございませんが、表示してあります位置でございます。現状の幅員は4.6メートルから5メートルでありまして、市公用バスなど大型車両が通行する際の往来に支障を来していることから、現状の幅員を6メートルから7メートルに拡幅いたしまして、住民の安全確保と利便性の向上を図るため、福沢辺地総合計画において道路改良事業をとり行うものであります。

8番、今後のスケジュールといたしましては、令和2年1月中旬に県との事前協議及び現地調査を実施いたします。3月に市議会第1回定例会へ上程を行い、議決をいただいた後に、4月には県へ計画書の提出、措置計画を添えまして山梨県から総務省に提出を行っていく流れとなります。

以上で（1）福沢辺地総合整備計画につきまして説明を終わります。よろしくご審議をお願いいたします。

○委員長（滝川美幸君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

ここで委員並びに職員各位に申し上げます。質問は一問一答とし、また質問、答弁は簡潔明瞭にさせていただきますようお願いを申し上げます。

それでは、委員より質疑等がありましたらお願いいたします。

松井委員。

○委員（松井 豊君） この青い枠で囲ってあるエリアは、人口どのくらいでしょうか。

○委員長（滝川美幸君） 丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） エリアにつきましては、186人で算出をしております。

○委員長（滝川美幸君） よろしいですか。ほかに。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） これは、市道小川線という今説明なんですけれども、今回、延長110メートル、基本的にまだ結構この距離があるんだよね、この道路は向こう抜けるまでに、ない、これ。穂坂へ抜ける、ゴルフ場へ抜けるあれじゃなくて。

[「あれは県道」と呼ぶ者あり]

○委員（赤澤 厚君） 県道か。これは、市道はどこら辺、ちょっと教えて。

○委員長（滝川美幸君） 小田切部長。

○企画政策部長（小田切 聡君） 敷島の奥の最後のバス停が元公共交通のバスのバス停があったところの道は県道韮崎昇仙峡線といいまして、そこから北部へ抜ける観音峠の平見城、小川のほうに抜ける路線でございます。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） それを今、現状はこれ大型バスとかなんかあるで、当然上なんか抜ける道路じゃないじゃんね、要は。そういう不便がある、広げなきゃならんという理由、

ちょっと教えてくれるか。

○委員長（滝川美幸君） 小田切部長。

○企画政策部長（小田切 聡君） ここにも書いてあるとおり、ちょうどその交差点から清川ふれあい館までの距離を拡幅の予定としておりまして、公民館から出るとき、当然車の最小半径というのは大体5メートルから5.4メートルぐらいになるんですけども、なかなかそこで1回で当然曲がり切れないというようなことがありますので、拡幅をして、スムーズに公民館前での軌道を確認するというところでございます。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 要は、小川線が今後これは延長で、この道路を改修するということじゃなくて、ふれあい館から出てくる、その区間だけを今回やるという、将来的なその先まで考えていないということか。

○委員長（滝川美幸君） 小田切部長。

○企画政策部長（小田切 聡君） そのとおりでございまして、これも自治会のほうの要望がございまして、特に今は地域のよりどころとして清川ふれあい館がありまして、その利活用のために、特に拡幅をするものだ聞いておるところでございます。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 辺地債がとれるということで、こういった制度を利用してやるということはいいことで、この事業はいいと思うんだけど、いろんな意味で結構へき地のほうにいろんな要望が出ているんじゃないかと思うんだよね、要は。またその辺も十分、これ5年計画であるんだけど、その後もいろんな、ほら、結構市道も傷んだり、いろんなところがあるんだけど、ちょっとこれ5年たったら、今後もこういった制度を利用して、いろんな面でやる予定はあるということですか。

○委員長（滝川美幸君） 小田切部長。

○企画政策部長（小田切 聡君） お答えします。

制度がある限りは有効にこれを利用していきたいと考えておりますので、またそれにつきましては、地域の要望等も十分聞いた上で精査していきたいと考えております。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） ほかに。

秋山委員。

○委員（秋山照雄君） これは、5年計画ということで、この工事自体は110メートルを5年で分けてやるということですか。そうじゃないですよ。

○委員長（滝川美幸君） 大木係長。

○総合政策係長（大木 康君） 一応、計画ですと令和2年度に測量設計で、令和3年度から工事施工で、完成は令和5年、3カ年の事業、測量設計が1年と工事が3年の事業を見込んでおります。

○委員長（滝川美幸君） 秋山委員。

○委員（秋山照雄君） 3年かけるということは、110メートルを3で割るということは、30メートルから40メートルずつやるということか。

○委員長（滝川美幸君） 丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） 本計画につきましては、所管課による地域の要望から年度割で計画が出ておりますので、今我々が聞いているのは、建設課において設計で1年で、3カ年を予定する計画で話を受けております。

あと、詳細につきましては、設計を行った中で、また施工期間が決まると思います。

あと、あわせて先ほど幾つかご質問がありましたが、本計画につきましては、もちろん地域の要望、また関係課、建設課を初め、農林振興課があるわけですが、各所管において辺地債が活用可能なものについては随時毎年変更を行ってまいりますので、ご理解をお願いいたします。

○委員長（滝川美幸君） よろしいですか。ほかに。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 今、再三答弁の中で地域の要望というような話がありますよね。地域の要望に基づいて辺地債を活用していくんだということなんだけれども、青い太い線で囲まれたこの中に、たしかこの絵だと、これの左側のほうは恩賜県有財産の大阪山の範囲内ではないですか。ちょっと地図が、これ結構この境まででしょう、青いやつというのは全体の境界までだよ。

〔「そうです」と呼ぶ者あり〕

○委員（有泉庸一郎君） そうすると、そういう何だ、恩賜林というか県有財産の範囲内に含まれているんだよね。それももう、そういう組合のほうから要望なんかないですか、林道の整備とか。

○委員長（滝川美幸君） 丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） 辺地総合整備計画というのは、あくまでも財政措置、要するに、ふだん国庫補助金等が活用できないものについてはこのような事業債を使うことによって有利な財源確保ができるという内容でございます。

議員さんからのご質問にあります内容については、農林水産省ですね。うちの課でいいますと農林振興課とか独自の例えば林道の整備は林道の補助金、また建設課の道路的な補助みたいなものは道路の補助金を活用するんですが、恐らくこの部分についてはそういう補助的なものが活用できないことから辺地対策事業債を活用することによって市費の抑制を図る部分でございますので、一応、区域については北部の9自治会を入れてありますが、中の事業によってはさまざまな有効なる有利な補助事業等を活用していく流れ等がございますので、ご理解をお願いいたします。

○委員長（滝川美幸君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） そうであれば、今後、辺地対策というか財政的な今の支援措置という話だったんだけど、要するに、これずっとこの制度がある以上はこれを続けていくつもりですよ。それで、今考えられる、まだ要望はないんだろうけれども、今後これを続けていくに当たって、どんな要望があるかというのは、ある程度は想定するわけでしょう、皆さん考えるときに。今後どのようなものがあると思われていますか。

○委員長（滝川美幸君） 丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） まさしく、まず初めに地域からの要望、また各所管による現場確認等で現地を選定していくわけですが、まず我々が想定しているのが、近年、大雨等の災害等がございます。まさしく山間地ですので、これまでやってきました転落防止網の確保とか、要するに緊急道路対策が近いのかなと考えておりますが、現時点では秘書政策課から庁内に確認をしたところ、この事業が選定されてきておりますので、引き続き、各所管において地域の要望を確認するとともに現場確認等を行いながら計画を定めていきたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。

○委員長（滝川美幸君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） いずれにしても、先ほどから、そうはいつでも農林振興とか道路とか辺地の対象に直接なるかどうかというのはわからないようなことをさっき言ったけれども、現実には、でも、そこに住まわれている住民の支障になるようなものは辺地対策としてやっていけるわけでしょう、実際は。

そうであれば、この前、これはいつごろだったかな、もう五、六年ぐらいたつかな、本村というのかな、本村へ行く、今でも多分住んでいると思うんだけど、田中泯さんが住んでいるところの道路の何だ、崩壊するようなところは俺1回行ったことあるんですよ、それ要望があつてね。そういうようなものもやっぱりある程度、あらかじめ皆さん秘書政策課も当然そうなんだろうけれども、道路とかいろいろ農林振興課とか建設課というの、例えばそういういろいろの所管のところがあるんだろうけれども、その辺もこれをこういう辺地の総合計画をやっていくのであれば、やっぱり日ごろからそういうものにも目を向けて、向こうから要望が来なきゃやらないというものでもないんだろうと思うんだよね。やっぱりこれを活用していくには行政サイドからもこういうところは直したほうがいいというその辺、そういうものというのはどうやられていますか、今。

○委員長（滝川美幸君） 小田切部長。

○企画政策部長（小田切 聡君） お答えいたします。

まさに、個人的には私が住んでいる場所でございます。なおさらその辺のことは十分承知をしております、先ほど有泉議員さんがおっしゃった落石防止の関係のほうも辺地の状況の中で、この前の計画、27年から令和2年までの計画をこちらのほうで1,900万円と29年度に実施してございます。これがまさにその内容でございます。当然、うちのほうもそういった状況の中で農林、それからいろんな方面を見た中で、毎年毎年担当課からこういった意見をいただいた上で辺地計画を作成していただいておりますし、その都度変更がございましたら、議会でまたご理解をいただいて、承認していただいて、変更をかけていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） よろしいでしょうか。

委員からは質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

○委員長（滝川美幸君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を許可いたします。

保坂議員。

○議員（保坂芳子君） 1ページのへんぴな程度で、辺地度点数というのがありますよね。これは、ここは福沢辺地は何点なのでしょう。

○委員長（滝川美幸君） 丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） こちらに表記のとおり、100点以上ということで、こちらの地区については116点です。

○委員長（滝川美幸君） 保坂議員。

○議員（保坂芳子君） そうしますと、県内では何番目ぐらいの順位ですか。

○委員長（滝川美幸君） 丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） すみません。間違えでした。136点です。訂正させていただきます。136点です。

○委員長（滝川美幸君） 保坂議員。

○議員（保坂芳子君） この点数は、県内では何番目ぐらいなんでしょうか。

○委員長（滝川美幸君） 丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） この点数づけは、県内の市町村のランキングができないものでございまして、申しわけないんですが、一応今回100点以上が目安となっていますので、福沢辺地につきましては、小学校の位置や例えば定期バスの回数とかそういう点数づけですので、自治体ごとの点数づけはしていませんので。すみません、よろしく願いいたします。

○委員長（滝川美幸君） よろしいですか。ほかに。

五味議員。

○議員（五味武彦君） 改めてお聞きしますけれども、この5年間でこの道路を110メートル仕上げるということだと思えるんですけども、例えばこれを活用したほかの事業というのはあると思えるんですけども、今回のこの5年間についてはこの道路のみということで理解していいんですか。それともそのほかに随時出てきたものはオーケーになるのか、この辺はどうなんですか。

○委員長（滝川美幸君） 丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） 五味議員さんのおっしゃるとおりでございまして、現時点ではこの道路1本でございます。5年間ございますので、随時事業が出たときにつきましては、先ほど部長の説明がありましたとおり、議会にお示ししながら県のほうへ変更手続を行ってまいりたいと思います。

○委員長（滝川美幸君） 五味議員。

○議員（五味武彦君） 第一段階はこの事業ということだと思えるんですが、これは例えば山梨県の中でも市町村で総枠というのはあるんですか。例えばここは今、2,300万円というのを提示されております。じゃ、総枠で各市町村で当然分配するでしょうけれども、改めて総枠

の中で2,300万円を受けるのか、それとも各市町村が出したものが甲斐市の場合、2,300万円だけれども、総枠の中で判断されているのか、この辺はどうなんですかね。

○委員長（滝川美幸君） 丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） このものにつきましては、まさしく辺地債なので、借り入れする予算でございます。国庫補助金のような枠があるものでございませんで、要するに各市町村が県に上げて、県の承認を受けながら国の許可を得た、要するに起債となりますので、枠というのは国のほうが判断するものでございますので、ちょっと国庫補助金のような枠組みではありません。

以上でございます。

○議員（五味武彦君） はい、ありがとうございました。

○委員長（滝川美幸君） ほかに傍聴議員ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（滝川美幸君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

以上で福沢辺地総合整備計画についてを終わります。

続いて、秘書政策課関係のその他を行います。

初めに、秘書政策課より報告をお願いいたします。

丸山課長。

○秘書政策課長（丸山英資君） 秘書政策課から甲斐市ふるさと応援寄附金の増収に伴います臨時議会への補正予算の提案についてお願いするものでございます。

本来であれば、総務教育常任委員会におきまして詳細の内容をご説明申し上げ、定例の市議会におきまして補正予算の提案をお願いするものでございますが、昨年12月定例会におきまして、令和2年3月までの寄附金の見込みを歳入予算額の寄附金額を5億円といたしました。これを大幅に上回る寄附をいただいたところでございます。

内容につきましては、令和2年3月までの寄附金を想定いたしました歳入歳出の増額補正予算、また返礼品につきましては、一部年度内に予算執行ができないことから令和2年度における支出を行うため、繰越明許費の補正予算もあわせてご提案をお願いするものでございます。

引き続き、自主財源の確保を念頭に置きながら、以上、甲斐市のふるさと納税寄附金に伴います歳入歳出の増額補正予算及び繰越明許費の補正予算につきましてお願いするものであります。

説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○委員長（滝川美幸君） 説明が終わりました。

本件は臨時会の案件ですので、質疑は省略いたします。

次に、委員より秘書政策課関係でお聞きしたいことがありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（滝川美幸君） ないようですので、以上で秘書政策課関係のその他を終了いたします。

ここで、職員入れかえのための暫時休憩をいたします。

休憩 午後 1時54分

再開 午後 1時55分

○委員長（滝川美幸君） 会議を再開いたします。

続いて、（2）甲斐市印鑑条例及び甲斐市印鑑条例施行規則の一部改正の概要について担当より説明をお願いいたします。

小池市民窓口課長。

○市民窓口課長（小池清美君） お疲れさまでございます。

市民窓口課から3月定例会に提出いたします条例及び規則の一部改正について説明させていただきます。

資料の5ページをお願いします。

甲斐市印鑑条例及び甲斐市印鑑条例施行規則の一部改正の概要となります。

今回の改正は、印鑑登録証明書の男女の別の削除に関する改正及び成年被後見人の権利の適正化を図るための改正でございます。

最初に、印鑑登録証明書の男女の別を削除することにつきましては、総務省から性同一性障がい、性的指向、性自認に配慮して男女の別を記載しない取り扱いをしても差し支えない旨の通達があり、性的少数者への配慮のため性別記載を削除する改正を行います。

次に、成年被後見人に関することにつきましては、成年被後見人等の権利の制限にかかわる措置の適正化を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、印鑑登録証明事務処理要領を一部改正したことにより、所要の要件を満たした場合には成年被後見人が印鑑の

登録を受けることができるよう印鑑の登録資格にかかわる規定を整備するため改正を行います。

詳しい内容につきましては、3月定例会におきまして説明をさせていただきます。

以上で説明を終わります。よろしく申し上げます。

○委員長（滝川美幸君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

委員より質疑等がありましたらお願いいたします。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） すみません、性的少数者への配慮のために性別の記載をなくすというんですけれども、これ、なくしても特に何か手続的な影響とかないんですか。

○委員長（滝川美幸君） 小池課長。

○市民窓口課長（小池清美君） 総務省のほうから差し支えないということで今回は改正をさせていただきますので、特に問題はないと思います。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） ほかに委員より質疑ありますか。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） これは総務省のほうから取り扱っても差し支えないという、逆に調べてもいいという、とり方によっては、こういうあれじゃないのか。全部しなきゃならないということなのか。

○委員長（滝川美幸君） 小池課長。

○市民窓口課長（小池清美君） 全部差し支えないということなので、しなくても構わないと思うんですけれども、県内の状況を見ますと、甲府市さんは31年1月からもう実施をされています。あと新聞にもありましたように、11月5日から実施している市が6市あります。12月議会で中央市さんも議決がされ、その後、令和2年の3月議会に提出する市もあるということで、県内の市の状況を見ますと、全ての市がもう議会のほうに提出して、男女の別を削除するという方向で動いていますので、甲斐市のほうもさせていただきますので、よろしくようお願いいたします。

○委員長（滝川美幸君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 先に答弁してもらったのであれなので、結局、県内の情勢をと思って、今調べてみるなら県内どうなのか聞こうと思ったら、大体もうほとんどそういう方向に向か

っているという答弁が課長からあったので結構です、はい。

○委員長（滝川美幸君） ほかに委員より質疑ありますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（滝川美幸君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を許します。

五味議員。

○議員（五味武彦君） これ、証明書を発行する際に男、女を省くということだと思んですが、じゃ、印鑑証明の申請時のとき、申請書類がありますよね。そのときには男女の性別というのは入れるんですか、入れるべき、そこはちょっと教えてください。

○委員長（滝川美幸君） 小池課長。

○市民窓口課長（小池清美君） 申請書のほうも男女の性別のところは削除をさせていただきます。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 五味議員。

○議員（五味武彦君） 申請書について、今後も証明書も男女はなくなるということですが、それによって事務的な処理はありますか。例えば証明書の男女の部分を削除するとかいう部分が出てくると思うんですよ。一応パソコンのほうも当然そこも削除していきやならないと、そういう部分の手間というのはどんなことが考えられるんですか。

○委員長（滝川美幸君） 小池課長。

○市民窓口課長（小池清美君） システムの改修のほうはもう既に済んでおりまして、こちらのほうが4月1日から施行ということで、4月1日からもう全て削除のほうをしてしまいますので、特に事務的な問題はありません。

以上です。

○議員（五味武彦君） はい、以上です。

○委員長（滝川美幸君） ほかに傍聴議員より質疑ありますか。

保坂議員。

○議員（保坂芳子君） 今ちょっと気がついたんですが、これはLGBTの方に配慮してのことで質問したことなんですけれども、例えば、今年度出生した男女は何人ずつでしょうみたいな、そういうことは今後はなくなるということなんですかね。それはまた別ですか。

〔発言する者あり〕

○委員長（滝川美幸君） 小池課長。

○市民窓口課長（小池清美君） 出生については、住民登録のほうをさせていただいたりしますので、印鑑登録証明書とは特に、関係はございません。

○委員長（滝川美幸君） それでは、傍聴議員よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（滝川美幸君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

以上で甲斐市印鑑条例及び甲斐市印鑑条例施行規則の一部改正の概要についてを終わります。

続いて、市民窓口課関係のその他を行います。

委員より市民窓口課関係でお聞きしたいことがありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（滝川美幸君） ないようですので、以上で市民窓口課関係のその他を終了いたします。

ここで職員入れかえのための暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時02分

再開 午後 2時03分

○委員長（滝川美幸君） それでは、会議を再開いたします。

続いて、（3）プログラミング教育の実施状況について担当より説明をお願いいたします。

興石学校教育課長。

○学校教育課長（興石 信君） それでは、よろしく願いいたします。

プログラミング教育の実施状況ということでありまして、1月10日の山日新聞におきまして、令和2年4月から始まります小学校プログラミング教育につきまして、甲斐市は準備が整っていないというような報道内容の記事が掲載されました。それについての説明、報告になります。よろしく願いいたします。

まず、1番の経過ですけれども、文部科学省が令和元年11月に全国の市町村の教育委員会を対象に行いましたプログラミング教育の実施に向けた指導体制の整備状況についての調査がありまして、プログラミング教育の実施に向け、教員が実践的な研修または授業、模擬

授業を実施済みあるいは実施予定があるかを問う内容のものでした。令和2年1月に結果が公表され、全国で114市町村、山梨県内では甲斐市を含む2市村で指導体制が整っていないとされました。また、このことが先ほど申しましたとおり、1月10日の新聞で報道されたところでした。

この調査におけます本市の教育委員会の回答状況ですけれども、11月の調査の時点では小学校11校のうち8校におきまして教員が研修または授業、模擬授業を実施済みでありましたけれども、残りの3校につきましては未実施、また実施日程が明確に決まっていない状況であったことから、本市教育委員会としまして一部の学校が実施済みであると回答したところ、指導体制が整っていないという報道になったものです。

3番の対応ですけれども、未実施の3校につきましては、令和2年1月の時点では本年度内の研修、授業の予定が確定をしております、本年度内に市内全ての学校が実施済みとなりまして、新聞報道によると指導体制が整っているという状況になる見込みです。

また、1月28日ですけれども、開催予定の竜王小学校のプログラミング教育の公開研究会、これ、市の指定なんですけれども、そこへ市内全校から多数の教職員が参加を予定しております、実際のプログラミングの授業を見学しまして、その後、各校の校内研修において周知をしまして、来年度4月からのプログラミングの実施に向けまして準備を整えていくこととなっております。

以上が報告になります。よろしくお願ひいたします。

○委員長（滝川美幸君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

委員より質疑等がありましたらお願ひいたします。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） すみませんね、僕は勉強不足でちょっと聞きたい。プログラミング教育というのは、その教育は内容等どんなあれなのか、ちょっとすみませんね、僕、勉強不足で申しわけないです。よろしくお願ひします。

○委員長（滝川美幸君） 小山田指導監。

○指導監（小山田拓也君） プログラミング教育につきましては、来年度から実施されます新学習指導要領に盛り込まれた、小学校において行われるものでして、いわゆるプログラマーを育てようというものではありません。コンピューターは使いながら、簡単なプログラム、指示を組み合わせたリ順番を考えたりということをして、そんなことで論理的にものを考え

るという力をつけようという、そういうものなんですけれども、実際の場面ではそういった教材のソフトを使いながら、コンピューターの操作をしながら画面上のキャラクターを指示どおり動かしてみるとか、それからコンピューターにつながった教材ロボットを動かしてみるとか、そんなふうなことを活動としては想定しております。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） これは、学年とかそういうものには関係なくて、低学年から高学年までのプログラムというかな、そういったものでコンピューターを使って行うということですか。

○委員長（滝川美幸君） 小山田指導監。

○指導監（小山田拓也君） いわゆる教科として位置づけられるものではないので、今ある算数とか理科とか音楽とか、そういったものの中で取り入れられるというもので、基本的に全学年で年間の中で何時間かずつというふうな、そんな計画になっております。

○委員長（滝川美幸君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） じゃ、特別に授業を設けるじゃなくて、各教科というかな、その中にこういったものを入れて取り組んで行くと。特別に授業の枠を設けてやるということじゃなくて、そういうことですか。

○委員長（滝川美幸君） 小山田指導監。

○指導監（小山田拓也君） おっしゃるとおりでございます。

○委員長（滝川美幸君） ほかに委員より質疑ありますか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） プログラミング教育か、今話を聞いてあれなんだけれども、要は論理的な教育というやつはコンピューターとかパソコンを使わなくて、今までだってやっていたわけでしょう。それを今度、要するにパソコンを利用して教育するというのをやっぱり重点的にやっていこうという、そういう趣旨ですよ。そういう理解でよろしいですよ。

それで、質問なんだけれども、大したことじゃないんだけれども、新聞報道がこういう報道をしたんだということなんだけれども、11小学校中8校においては実施済みだったんだけれども、3校において未実施だったというのは、これは何か、どんな理由でこの3校はおくれたんですか。

○委員長（滝川美幸君） 興石課長。

○学校教育課長（輿石 信君） 教育委員会のほうで、来年4月からもうこれが始まる予定になっておりましたので、指導としますと今年度中にそういった授業と研修等をしてくださいとお願いしていたんですが、11月の調査ですと8校は実施をしていて、残りの3校も実施の意向はあったんですが、明確に何月何日にやるという予定がなかったので、それを教育委員会の回答のこちらの判断として「実施予定がない」という形で、「一部の学校が実施済み」と答えてしまったというところが実情です。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） よろしいですか。ほかにありますか。

〔「ない」と呼ぶ者あり〕

○委員長（滝川美幸君） すみません、なければ委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を許します。

斉藤議員。

○議員（斉藤芳夫君） 私は、竜王小学校でこれ何回か見たんだけど、いろんな学校の先生も来ていたし、モデル校に竜王小がなったのがいつなのか私知らなかったけれども、こういう研究会はことし1月28日で、今度この暮れにまたあるようなんだけれども、これまでに何回しましたか。竜王小学校で。

○委員長（滝川美幸君） 小山田指導監。

○指導監（小山田拓也君） 竜王小学校でこの研究を指定したのが3年前になりますので、平成29年度が初年度になっています。初年度におそらくそのときにごらんいただいたんじゃないかと思うんですけども、プログラミングの授業を公開しています。昨年度は新しい学習ということで、外国語のほうにちょっと研究を移しまして、昨年度は外国語を公開していました。今年度はまたプログラミングに取り組んでいるという、そんな3年間の竜王小学校の研究です。

○委員長（滝川美幸君） プログラミングの公開授業を何回かやったかということです。

○指導監（小山田拓也君） 申しわけありません。今回を含めると2回ということになります。

○委員長（滝川美幸君） よろしいでしょうか。

斉藤議員。

○議員（斉藤芳夫君） 先生のほうが戸惑っているんだよ、実はね。よそから研修に来て、僕らが見ると何やっているだかちっともわからない。でも、後で意見交換になると質問がいつ

ばい出てくるんです、先生から。初めて俺らもちよっとわかるかなという感じ。一番わかりやすいのは、何となくものをつくる技術的な部分のところは見ていてわかるんですよ。子供のほうがどんどん進んでいると先生のほうがあっけにとられているというような形になっている。やっぱりこういうふうに報道がこういう評価をされるというのはそこに問題ありかなというふうに思うんだけど、やっぱり何か国もむちゃ言っているなという感じもしないでもないんだよね。その辺はどんなふうに思っていますか、教育部長でも課長でも。

○委員長（滝川美幸君） 興石課長。

○学校教育課長（興石 信君） 非常に難しい質問で答えにくいんですが、学校現場は非常に新しいものがたくさん入ってきまして、戸惑っているというのが本当のところだと思います。プログラミング教育も論理的な思考を身につけるということが目的になるんですが、よりわかりやすい形でプログラミングを論理的に組み立てながら、それが形としてロボットの動きにあらわれるとか画面上でわかりやすいので、どうしてもやっぱりそういったソフトを使いながら、機器のよいところもありますので、実際なかなかそれを学校で先生方が十分にやっていくには非常に先生方の準備もありますし、そういった物的な準備の部分でも非常に難しい部分はあるなと感じているのが素直なところです。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） よろしいですか。

すみません、樋口部長からお答えがあります。

○教育部長（樋口 充君） 議員の皆様にご心配をおかけしまして、まことに申しわけありませんでした。

今、課長のほうからも話がありましたように、学校現場でも先生に対して研修に行っていたり校内でも研修をしているわけですけれども、今後も教育委員会としましても研修等の機会を設けまして、先生方に出席をしていただいて、プログラミング教育のほうをしていきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（滝川美幸君） ほかに傍聴議員。

内藤議員。

○議員（内藤久歳君） これは既に研修とかやっていると思うんですけれども、これは基本的には先生と生徒と一緒にやると思うんですけども、それに対して子供たちのプログラミング教育というものに対する受け入れ状況というか、その辺のところはどんなぐあいですか。

○委員長（滝川美幸君） 小山田指導監。

○指導監（小山田拓也君） まだ実際の授業がそれほど、今はこういった形で試行としての授業をしているような状況ですので、子供たちもそれほど体験はまだ回数がないという状況ですが、そういった中で子供たちの声を聞くに、非常にやっぱり興味は高い、関心はある。コンピューターにさわれるということで、自分の指示で動くというふうなことがありますので、そういった意味では非常に興味関心は高いというふうにさまざま情報としては集めているところであります。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 内藤議員。

○議員（内藤久歳君） このプログラミング教育というのはあれですよ、先生方も非常にいろいろな捉え方で温度差があったり混乱しているというような報道等もあって、非常に難しいと思うんですよ。そういう中で一番問題になっている、新たにこのプログラミング教育が導入されることによって現場の先生方がさらに仕事がふえるというふうな部分も出てくると思うんですよ。そういう点に関して、今後、教育委員会としてどんな対応をしていくかということもこれ重要な問題だと思うんですよ。その辺についてどんな考えをお持ちか伺いたいと。

○委員長（滝川美幸君） 興石課長。

○学校教育課長（興石 信君） 内藤議員さんから指摘がありました件ですけれども、一度議会でも質問いただきまして、質問にも答えているんですが、本市の教育委員会としますと、そのような中で非常に忙しい、多忙化が叫ばれる中で導入されるこの教育につきましては、効率よく成果が高められるように内容とか授業の形態とか、そういったものを工夫した研修を実施したり、外部機関と連携しながら、専門的な部分については外部の方に来ていただいてサポートしていただくとかそういったことを考えながら、また、各学校で差が出ないように、そういった情報の提供とかそういったものを教育委員会が中心となりながら、教員の多忙化につながらないような、でも、かつ効果が上がるような、そういった形にしていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） ほかに傍聴議員、質疑がありますか。

横山議員。

○議員（横山洋介君） 先日も、このプログラミングについても個別でちょっと課長のほうにお話をさせていただいたと思うんですけれども、言えるところ、言えないところもあると思

うんですけれども、例えば、先日もお話ししたソフトをどうするかとかそういった体制というか、そういったものというのをちゃんとお話しいただければと思うんですけれども。

○委員長（滝川美幸君） 興石課長。

○学校教育課長（興石 信君） 非常に教材等を購入する費用というのがかかっているということが想定されるんですが、これ、来年度当初予算の案の段階ですけれども、教育委員会のほうでプログラミング教育に係る教材、ロボットを10台ほど購入しまして、それを学校の求めに応じて現場に提供して使っていただくようなことも考えておりますし、本格的な実施は来年度になりますが、その1年間の学校の実施状況とか、先ほども出ました子供たちの受けとめ方なんかもちょうど情報として集めまして、またそれを来年度以降、再来年度以降のそういった授業とか予算のほうにつなげていきたいと、そのように考えているところです。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 横山議員。

○議員（横山洋介君） 先ほどの内藤議員の答弁の中でも外部の方をということで、そういった体制もしっかりされると思うんですけれども、そういう外部のいわゆる業者さんになると思いますけれども、そういったところがもう決まっているのかどうかとか、例えば今、ソフトでスクラッチというものに対応している先生はそれは対応できるんですけども、違うソフトになったときにまたできなくなったりとか、そういったいろいろな問題があると思うんですけれども、そういったものも外部のそういったところでもサポートしていただきながらということになると思うんですが、そういった業者さんとか、もう決まってやっていくという、何か決まっているんですかね。

○委員長（滝川美幸君） 興石課長。

○学校教育課長（興石 信君） 今あったこの業者かというのは具体的にはまだ決まっていないんですけれども、大学と連携をしていくとか、地域の専門学校的なところと連携をしていくとかそういうことを含めながら、これから具体的にどんな連携ができるのかということを考えていきたいと思っております。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 保坂議員。

○議員（保坂芳子君） 私はマスコミの対応という点でちょっとお聞きしたいんですけれども、3校というのは結局このままに置いて、全然指導というか何もやらないで4月を迎えてしまうということは考えられたんでしょうか、そもそも。

○委員長（滝川美幸君） 興石課長。

○学校教育課長（興石 信君） 11月の時点の調査でした。未実施の3校についても年度内にやっていくという意向はこちらの指導もあってあったんですけども、それが明確に何月のいつやるということが予定として立っていなかったのので、それを回答する私どもで「実施予定がなかった」という回答をしたというところで、こんな報道につながったということなのです。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 保坂議員。

○議員（保坂芳子君） 甲斐市の教育委員会がやらないということを認めるなんていうことは絶対ないと思うので、やっぱりもう絶対やるわけですよ。だから予定があったというふうにして全部やりますと、3校もあれですけども、実施。一部の学校が実施済みといたって11校のうち8校やっているんですから、ほとんどが実施しましたと、あと3校も予定ありますときちっと言ってくれたほうが、要するに何かというと、やっぱり新聞に出ちゃいますとみんな父兄も私たちもあれと思うわけなんです。絶対信用しているんですけども、だからやっぱり余りにも真面目過ぎるといふか、そういうふうには感じたんですけども、その辺のところもよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） そのことにつきましては、新聞報道の当日、私もすぐにこちらのほうにお話をしまして、やっぱり回答をしっかりと気をつけていただかなければ新聞に載ってしまうと大変なことになるということですので、お話ししてありますので、今後は大丈夫と思います。よろしくお願ひいたします。

ほかに。

清水議員。

○議員（清水和弘君） 私も竜王小学校の研修をちょっと見学させていただいたんですけども、先ほど斉藤議員が話をしましたように、当時は全国から来ていたのかな、研修の中身を知りたいということで、相当幅がある年齢層の中で大変みんな困惑していましたね、見ている。そして、私も見ている中でワークショップ形式みたいなグルーピングされてやっていたんですけども、指導する若い先生方にも相当差があるなど、こういうふうには感じているわけですけども。

お聞きしたいのは、そういう中で甲斐市では専任の指導員を置くというようなことはござ

いませんですか、全体を通して指導できるような。

○委員長（滝川美幸君） 興石課長。

○学校教育課長（興石 信君） 今のところ、そういった予定はございません。

○議員（清水和弘君） あくまで各学校の先生方にお願いですと。

○学校教育課長（興石 信君） そうですね。あと、県の教育センターにそういったことを担当する指導主事がありますので、そういうところで派遣するというような形では考えておりますが、市の中でそういった専門の方を置くというのは現段階では今のところ予定はありません。

○議員（清水和弘君） わかりました、はい。

○委員長（滝川美幸君） よろしいでしょうか。ほかに質問はありますか。よろしいですか。

[発言する者なし]

○委員長（滝川美幸君） 皆さん、プログラミングのことは非常に自分がわからないだけに心配があるということですので、ぜひ公開授業に今からでも申し込んでいただいて、議員さんも見ただけであればと再度お願いいたします。

以上で質疑を終わらせていただきます。よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

○委員長（滝川美幸君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

以上でプログラミング教育の実施状況についてを終わります。

続いて、学校教育課関係のその他を行います。

初めに、学校教育課より報告をお願いいたします。

興石課長。

○学校教育課長（興石 信君） それでは、この場をおかりしまして報告をさせていただきます。

案件は、甲府市の中村町の池田公園で発生した火災についてのその後の経過報告についてです。

1月14日火曜日の山日新聞におきまして、100平方メートルを焼く火事が発生し、甲斐市内の男子小学生2名がライターで火遊びをしていたところ、枯れ草に燃え移ったとの報道がありました。同日中に各議員の方にはファクスで事案の発生について周知をしたところですが、その後の経過についてここで報告をさせていただきます。

その後ですが、該当児童の保護者から学校に連絡がありまして、児童の特定ができたところです。特定できましたのは敷島南小学校に通学をする5年生の児童2名と判明いたしました。

た。学校ではその報告を受けまして、直ちに児童本人に経過を聞くとともに、再発防止について児童に指導を行いました。また、保護者にも子供を注意深く見守るよう、あわせて指導を行ったところです。

2名の児童につきましては、学校生活の様子ですけれども、特に生活面や学習面で問題を起こしたりとか落ちつきがない、ルールや規則を守らない、指示に従わないといったことはなかったお子さんで、通常の学校生活を送っていたとのことでした。

今後とも、学校におきましては子供の小さな変化を見逃さず、また家庭との連携をより密にする中で、子供たちの健全な成長について力を尽くすように教育委員会として話をしたところです。教育委員会を含めまして、家庭、そして学校と連携を図りながら、このようなことが起きないようにまた努めてまいりたいと思います。

以上、その後の報告になります。よろしくお願ひいたします。

○委員長（滝川美幸君） 説明が終わりました。

質疑を行います。

委員より質疑等がありましたらお願ひいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（滝川美幸君） よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（滝川美幸君） それでは、なければ委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を許します。

五味議員。

○議員（五味武彦君） こういう席ですから、個人的な話はできないとは思いますが、南小の学校域ということだけしかないので、その生徒の住まいは長塚ですか。私が住んでいるところなんです、そこまで教えてもらえますか。別の席で構わないですけれども。

○委員長（滝川美幸君） 興石課長。

○学校教育課長（興石 信君） この場では敷島南小学校の児童ということで、勘弁させていただきます。

○委員長（滝川美幸君） 傍聴議員はよろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

○委員長（滝川美幸君） なければ、これで質疑を終わります。

以上で学校教育課関係のその他を終了いたします。

ここで職員入れかえのため暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時28分

再開 午後 2時32分

○委員長（滝川美幸君） それでは、会議を再開いたします。

続いて、（4）東京2020オリンピック競技大会における聖火リレーについて担当より説明をお願いいたします。

山岡スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（山岡広司君） ご苦労様です。

それでは、スポーツ振興課より東京2020オリンピック競技大会における聖火リレーについてご説明をさせていただきます。

資料7ページ、A3判になりますが、よろしくお願ひしたいと思います。

昨年12月18日の山日新聞でも掲載がございました内容についてご説明をさせていただきます。

下のほうですけれども、2の2リレー通過概要というところを見ていただきたいと思います。

47都道府県を114日間にわたり、1日当たりおおむね80名から90名程度で走行を行います。福島県を3月26日に出発しまして、県内には6月27日土曜日、28日日曜日の2日間、23市町村、170区間を走行する予定でございます。

ランナーにつきましては、原則1名で走行をいたします。市内を走るランナーは公募により本市や本県にゆかりのある方が各1名、その他スポンサー推薦の方が走行をする予定でございます。甲斐市におきましては、走行日時につきましては、6月27日土曜日、おおむね午後2時から4時の間に走行する予定でございます。

選出ランナーにつきましては、聖火ランナーに応募された中から甲斐市在住の方は2名選ばれております。まず1人目が花輪和志さん、39歳で、こちらの方は甲斐市の総合型スポーツクラブ、アスとれの代表者ということでございます。2人目につきましては、齋藤ひろ子さん、72歳、こちらの方につきましては、ねんりんピックマラソン女子の部で5キロメ

ートルの県代表になった方と聞いております。

ルートにつきましては、上の真ん中の2の1拡大図を見ていただきたいと思います。竜王西小学校の西の道路でアオヤマスーパーというスーパーがあるんですが、そちらの交差点から出発をします。北上し、アルプス通りを左折し、開国橋の途中まで、うちの甲斐市となります。この後は南アルプス市に聖火を引き渡していく状況でございます。

甲斐市の聖火リレーの距離につきましては、約1.6キロメートルでございます。おおむね8から9区間に分けますので、1名の方が1区間約200メートルほどを走行する予定でございます。また、隊列につきましては、300メートルの長い隊列で聖火を守りながら走行していくという状況でございます。

以上が聖火リレーの説明となりますが、6月27日土曜日、ぜひ委員各位、沿道に足を運んでいただき、ぜひ盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思っております。

以上、説明とさせていただきます。よろしくご審議お願いします。

○委員長（滝川美幸君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

委員より質疑等がありましたらお願いいたします。

秋山委員。

○委員（秋山照雄君） 基本的には、3人が1,600メートルをそれぞれ3つに分けて走るということですね。どの辺でバトンタッチするとか、そういう具体的なことはわかっていないですか。

○委員長（滝川美幸君） 山岡課長。

○スポーツ振興課長（山岡広司君） まず、1.6キロメートルをまだはっきりしていないんですが、一応多分8か9区間、8人から9人で約200メートルを走って、そこで聖火の火をバトンタッチするということですので、どこでタッチするかはわからないんですが、おおむね200メートルずつ走っていくということを聞いております。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 秋山委員。

○委員（秋山照雄君） スポンサー選出の人はまだわかっていないですか。

○委員長（滝川美幸君） 山岡課長。

○スポーツ振興課長（山岡広司君） 12月18日の新聞掲載によりますと、PRランナーはま

た別で9名いるんですが、その方はもう新聞に出ておりますので、その方がうちのどこかで走るかもわかりません。

ただ、うちのこの8区間で走っていただけるのは花輪さんということだけがわかっておりまして、あと誰が、PRランナー9人の方がどこを走るのかも全くまだわかっておりません。以上です。

○委員長（滝川美幸君） よろしいですか。

金丸副委員長。

○委員（金丸幸司君） すみません、ここに一番下のほうに対象の自治会とか一般、周辺の住民に周知とかどういうふうに考えているんですか。

○委員長（滝川美幸君） 山岡課長。

○スポーツ振興課長（山岡広司君） 基本的には、まず道路の通行止めの関係がありますので、そちらの周知をこの周りの自治会、また先日、企業のほうへはもう私たちはお話をしに行っておりますので、一応、自治会にも通知はしますし、再度歩いて、大きな企業には連絡をしていきたいと考えております。

○委員長（滝川美幸君） よろしいですか。ほかに委員より質疑ありますか。

[発言する者なし]

○委員長（滝川美幸君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を許します。

五味議員。

○議員（五味武彦君） 今までの説明だと、この区間は8区間に分けて8名が走るということですが、要するにランナーとして。大体私のイメージとして、随伴ランナーというのがあると思うんですよね。一緒に走るという、こういう隊列的なものはあるんですか。まず、随伴ランナーはいるのかどうか、ただ単に1人が聖火を持って走って、後を後ろの車がずっと続くのか、この辺の形態はどうなっているんですか。

○委員長（滝川美幸君） 山岡課長。

○スポーツ振興課長（山岡広司君） 形態ですが、おおむね300メートルの隊列になるんですけども、こちらにもあります広報車とか救護車、またスポンサーの関係の車が走りまして、それで最後の人のほうでランナーが1名ということは私も聞いておりまして、この後ろに走るかどうか、これ一応聞いたら1名ということをお知らせしておりますので、まだはっきり私たちがわからないんですが、一応今1名ということだけは聞いております。39年のとき

は何か後ろにも並んで走った状況で、一応聞いたんですが、今の答えは1名という答えで聞いております。すみません、そんなことで。

○委員長（滝川美幸君） 五味議員。

○議員（五味武彦君） じゃ、これははっきりするのはもう少し後ですね。今のところランナーが決まっている、区間がわかっているということだけで、随行ランナーどうするのかとか、隊列も300メートルになっているけれども、その辺の詳細というのは大体いつごろまでにこういうのはわかるものなんですか。

○委員長（滝川美幸君） 森澤係長。

○スポーツ推進係長（森澤篤史君） 県の実行委員会のほうに取りまとめを今行っているんですが、通過する関連市町村の会議の日程というのは詳細が決まっておりません。今から警備等も含めて、いろいろと市町村との協議が必要ということなので、いずれ開催されるということは決まっているんですが、まだ予定は立っていない状況です。

○委員長（滝川美幸君） 傍聴議員、ほかに質疑ありますか。

内藤議員。

○議員（内藤久歳君） コースのことでちょっと確認したいんだけど、この赤い線のところは全面交通どめになって、あと黄色の部分まで、この赤と黄色の部分は走るといふ、そういうことか。その辺がよくわからない。

○委員長（滝川美幸君） 山岡課長。

○スポーツ振興課長（山岡広司君） すみませんでした。交通規制の関係なんですけど、赤は全面通行止めです、両サイド。黄色はアルプス通りですので、開国橋に行くほうは全部通行止めにして、その向こう、甲府側へ行くやつはそのまま普通です。片側ということで、片側を通行止めにして、そこを走行すると、その区間を走行していくということでございます。

○委員長（滝川美幸君） 内藤議員。

○議員（内藤久歳君） それで、その間を先ほど言った1人と8人で200メートルずつ走ると、そういうことだね。ここでリレーをして、その人数で、そういうことね。それで、この間を沿道で盛り上げてくださると、そういう流れだね、それでオーケーか。

○委員長（滝川美幸君） 山岡課長。

○スポーツ振興課長（山岡広司君） そのとおりでございます。

○議員（内藤久歳君） はい、了解です。

○委員長（滝川美幸君） 横山議員。

○議員（横山洋介君） すみません、聖火リレーのときのというか、この例えば警備とか交通整理とか、そういった取りまとめというのは、これは担当の市がやるんですか。それとも県なのか、どこがやるんですか。

○委員長（滝川美幸君） 森澤係長。

○スポーツ推進係長（森澤篤史君） ルートにつきましては、事前に県の実行委員会と山梨県警のほうで協議をしております、取りまとめは県の実行委員会が行います。市のほうは協力をするというので、事前の周知の看板であったり、あとボランティアの警備スタッフを要請するという形で聞いております。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 横山議員。

○議員（横山洋介君） この区間だから、余りないと思いますけれども、例えば当日の緊急車両の交通の確保とかそういったものというのは、もう徹底的に県が県警とともに協議してあるということではないんですか。

○委員長（滝川美幸君） 森澤係長。

○スポーツ推進係長（森澤篤史君） そのような緊急車の通行なんかも考慮してまして、迂回路は必ず設けるといふことの話になっております。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） ほかに。

清水議員。

○議員（清水和弘君） お尋ねします。選出ランナーの中の齋藤ひろ子さんですけれども、この選手に関しては最終的にねりんピックマラソン女子5キロ県代表ということですが、実際に齋藤さんの場合はこれで全国優勝していますよね。こういったことの実績というのはこういうところには載せられないのでしょうか。

○委員長（滝川美幸君） 森澤係長。

○スポーツ推進係長（森澤篤史君） 今回、甲斐市を走る2名につきましては、甲斐市ゆかりのほうはアスとれの代表の花輪さん、もう1人の齋藤様につきましては県のゆかりということで、選出は県のほうが特別枠で推薦をしているということで、その内容について新聞にも掲載された経過があります。うちのほうはそういった情報は新聞の内容以外のものは書かなくてくれということで県からも言われておりますので、それに基づいて記載しております。

○委員長（滝川美幸君） よろしいでしょうか。

長谷部議員。

○議員（長谷部 集君） 先日の県下の駅伝のような感じで、市民の人たちに聖火が走るの、応援に沿道に集まってくださいみたいな周知を市としてするのかどうか、また応援に来た場合に遠くの方は多分車で来ると思うんですけども、車で応援に来た人たち用の駐車場とか、そういったものも考えているのか、その辺どうでしょうか。

○委員長（滝川美幸君） 山岡課長。

○スポーツ振興課長（山岡広司君） まず、周知の関係なんです、3月26日から福島県を出発するというので、報道関係はかなり流れるとは思いますが。その中で、うちで考えているのは、まず広報紙へもちろん載せますし、ホームページ等にも載せさせていただき、周知をしていきたいとは思っております。

また、車につきましては、近場にある公共施設、釜無川スポーツ公園、南部公園、また竜王西小学校や農林高校、警察学校、また、企業が南側にありますので、企業のほうにもお願いをしながら駐車場の確保は考えております。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 長谷部議員。

○議員（長谷部 集君） また、周知とは別に、例えば体協の人だとか消防団だとか、そういう人たちに動員もかけたりすることがあるじゃないですか。今回はそういうことまで考えているんですか。

○委員長（滝川美幸君） 山岡課長。

○スポーツ振興課長（山岡広司君） 基本的には職員と体育協会の専門部にはお願いをしようかなと今考えるところでございます。

以上です。

○委員長（滝川美幸君） 以上でよろしいでしょうか。ほかに傍聴議員はありますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（滝川美幸君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

以上で東京2020オリンピック競技大会における聖火リレーについてを終わります。

続いて、スポーツ振興課関係のその他を行います。

委員よりスポーツ振興課関係でお聞きしたいことがありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（滝川美幸君） ないようですので、以上でその他を終了いたします。

続いて、次第の4、その他に入ります。

委員より常任委員会関係でその他、何かありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（滝川美幸君） 事務局よりありますか。

興石係長。

○庶務・議事係長（興石文明君） 次回の総務教育常任委員会ですけれども、2月13日木曜日、1時30分から行いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（滝川美幸君） 以上でその他を終了いたします。

以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして総務教育常任委員会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。

閉会 午後 2時47分